

真宗大谷派（東本願寺）天満別院

六字城

ROKUJIJO

2023/12/1

No.709

大阪市北区東天満 1-8-26
06-6351-3535
http://www.tenma-betsuin.jp
代表者 輪番・武宮 信勝



天満別院 宗敬寺院巡り

鷺洲山 南桂寺

沿革 南桂寺は海老江惣道場と称していたが、『鷺洲山南桂寺』と、山号・寺号が許可せられたのは、明暦三年九月（1657年）であった。時の住職は意専という人で、本堂・庫裡・山門が荒廃しており、次々と修復し整備したので、南桂寺中興の祖といわれている。（西成都史、本山蔵寺院明細帳、南桂寺由来記）海老江惣道場は、いつ創設されたか明らかでないが、恐らく本願寺の勢力が大坂地方へ延びてきた足利時代といわれている。特に本願寺第八代蓮如上人の教化によって、明応五年（1496年）に石山御坊（大坂城附近）が建立せられた頃、相前後して創立されたのであろう。

南桂寺の過去帳は元禄十二年（1699年）より今日まで現存し、其他往来手形・四国巡拝依頼状（共に旅行の身分証明書で、パスポートのようなもの）、宗旨送り状（今で言う転出証明或は移動証明のようなもの）等多数残されている。また觸頭（ふれがしら）天満別院を通じて通達される本願寺の觸書を記載した帳面が天保年間より五冊残されている。恐らく今言う組長の役務を住職がしていたと推測される。

現在十八代目の住職は二十年ほど前にコーラスを立ち上げ、報恩講の折に仏教讃歌を披露されている。奥林住職は「2018年の台風により屋根が破損し、2019年の修復に合わせて御遠忌を計画していたが、コロナ禍の為やむなく中止となった。2024年春の御遠忌・慶讃法要に向けてご門徒と共に計画をしている」と語っておられました。

尚、住職は、天満別院の責任役員として2016年より就任し、重責を担っていただいております。

法要・行事予定

12月			1月		
5日	同朋の会	(13時)	1~3日	修正会	(8時)
9日	天満別院合唱団「みのり」	(14時)		※1日のみ 年頭挨拶 輪番 武宮 信勝	
4日	法要部会公開講習会	(17時)	4日	如信上人御祥月御命日	(8時)
12日	闍如上人御遠夜・常永代経	(14時)	12日	闍如上人御遠夜・常永代経	(14時)
13日	闍如上人御命日 兼日中	(8時)	13日	闍如上人御命日 兼日中	(8時)
18日	青年部会立華講習会	(16時)	15日	嚴如上人御祥月御命日	(8時)
27日	宗祖聖人御命日御遠夜	(14時)	19日	覚如上人御祥月御命日	(8時)
28日	宗祖聖人御命日 兼日中 法話：輪番 武宮 信勝 すす払い 同朋の会	(9時)	20日	天満別院合唱団「みのり」	(14時)
31日	歳末昏時勤行	(15時)	24日	定例法話 蓮沼 乗行師	(13時30分) (第6組浄行寺)
おおさじにお参りしましょう！！ 毎朝7：45分～8：30頃まで。			25日	法然上人御祥月御命日	(8時)
			27日	宗祖聖人御命日御遠夜	(14時)
			28日	宗祖聖人御命日 兼日中 法話：輪番 武宮 信勝	(8時)

すす払い同朋の会

左記の通り、ご門徒の皆様へ年末すす払い奉仕をお願いを致します。

日時 12月28日（木）9時

場所 天満別院本堂

服装 汚れても構わない服
※昼食を用意しています。

誤字のお詫び
六字城11月号にて誤字がありましたので報告させていただきました。

誤 西村 沙弥花
正 西村 紗弥花
謹んでお詫び申し上げます。

今月の伝道掲示板

わかきとき
仏法は
たしなめ
蓮如上人

編集後記

新型コロナウイルス感染症に加えてインフルエンザが猛威をふるい、体調を崩す人が多いようです。かくいう私も体調を崩してお休みをもらいました。

ウイルスは生き残る為に毎年形を変えて活動しています。お寺も時代社会の変化に対応して変わっていかないと護持する事はできないのでは。ウイルスに学ぶべき事は多いようです。

(Y)

本山（東本願寺）御用達

(株) 平安法衣店

〒600-8153
京都市下京区東町本願寺大門前
電話 (075)-351-3681
FAX (075)-351-5563

おかげさまで創業120余年
あなたの街の石やさん

株式会社 太田石材店

～仏事その他何なりとお気軽にご相談ください～

フリーダイヤル 0120-305-075

本社
〒536-0001 大阪市城東区古市1丁目23番20号
TEL 06-6930-5075 FAX 06-6930-5078



専光寺住職 越本 達了師

定例法話

11月24日(金) 御講師に5組 専光寺住職 越本達了師をお迎えし、講題「浄土の物語」についてお話いただきました。

師からは、「目的があると迷っているようには見えないが全体的に見ると迷いの中を進んでいる。生きているとは死に向かっていくことだが、浄土に生まれるという目的があれば往く生き方(今)に変わる」と話されました。また「娑婆の世界は日に日に寂しくなるがお浄土の世界は賑やかになっていく」というご年配のご門徒さんからのお話も紹介され、参拝された方々は熱心に聴聞されていました。

起工式 執行

去る11月22日(水) 明年1月より始まる商業施設「ライフ」の起工式が執り行われました。式は別院職員・責任役員の奥林氏が執行し関係者各位が参列されました。11月頃竣工の予定と聞いています。



輪番雑感

「坂東曲」にであう

去る11月28日、親鸞聖人御遷化762年の御正當、朝7時30分、別院御門徒22名と結成式を終え京都東本願寺へと向かった。9時前、あざやかな黄色に染まった銀杏と内局参務全員と関係職員の皆さんが大門前で温かく迎えてくれ

報告

「御正忌報恩講」 団体参拝

去る11月28日(火)、天満別院門徒会の総勢22名で、御正忌報恩講御満座(結願日中)に参拝しました。



御本山団体参拝の様子

特に、今回は「坂東曲」に出遇うことを願って企画されました。御影堂が超満堂に埋まる中、沢山の僧侶の方々が一斉に体を前後左右に振ってお勤めが始まると多数の参拝者の方々もどよめき、立ち上がって見ている方も出て、私たち

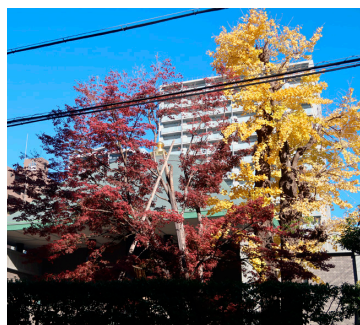


比叡山 常行堂に参拝

参拝者の方々も初めて出遇う「坂東曲」を聞き入っておられました。車椅子での参拝者もおられ、皆さんと一緒に思いに残るご縁に遇い得てよかったという声を聞かせていただきました。

またこの度は、若き親鸞聖人が二十年間もの永い間修行された比叡山、特に常行堂を拝観してきました。朝から夕暮れまで御本尊を中心に念佛を唱え、文字通り念佛三昧をされていたと伝えられています。

夕暮れの日差しの中、親鸞さまを偲びつつ記念にと写真を一枚撮って下山したことでした。



境内を彩るイロハモミジと銀杏

があのだ日本海の荒波にたたかれ、やつとのおもいで居多ヶ浜に御着きになられた心境を憶念されたことを表現されて始まったと聞いて、今もなお感動をいただいています。私一人のために命がけで御苦勞してまでされてと。

いづれにいたしましても、今年の坂東曲『高僧和讃』六首の内、五濁悪世のわれらこそ金剛の信心ばかりにてながく生死をすてはてて自然の浄土にいたるなれ

(私詠)

今日の生きづらい世の中にあつて決してぶれることのない信心こそがどんなことがあつてもそこに立つてありのままで生きていける身が拓かれる。が、一層深く胸に突き刺さって、今も我流坂東曲を口づさんでいます。